



種足小だより

No. 7 11月号

令和5年11月1日

在籍児童数137名

自信をもって！自分たちの力を信じろ！

校長 青木 久永

北国から初霜や初雪の便りが届く季節になりました。街路樹のイチョウが黄に染まり、ギチギチギチと「モズの高鳴き」に秋の深まりを感じます。一方で、各地でクマによる人身被害も過去最多のペースだそうです。

カレンダーも残り2枚。向寒のみぎり、いかがお過ごしでしょうか。10月7日の第2回PTA資源回収では、種足地区の皆様には多くの御協力をいただき、誠にありがとうございました。資源回収の収益金は、種足小学校・騎西南幼稚園の子供たちの教育活動推進のため、有効に使わせていただきます。

10月には多くの行事がありました。5年稲刈り体験・社会科見学(東洋水産、武州中島紺屋)、6年加須市陸上競技会、1・2年遠足(埼玉県こども動物自然公園)、4年サイエンススクール(加須未来館)・加須市児童生徒音楽会・メタウォーター株式会社様による水の「砂ろ過」実験の特別授業。今月には青少年育成種足支部の御支援による1・2年と騎西南幼稚園のサツマイモ掘り体験も予定されています。

こうした行事を行うには、地域や関係機関との調整や準備に労力を要しますが、学校生活に潤いとアクセントを与え、学力の一つである「学びに向かう意欲」を高めることができます。行事後は、達成感とともに座学では得られない感動や成長が感じられます。有意義な行事を今後も維持・継続していくため、皆様の御理解を得ながら、学校の働き方改革を進め、教師が「子供と向き合うための時間」をつくることが不可欠です。

過日、放課後の陸上練習が終わって片付けをしていた時、学童クラブの児童がバスケットボールをしていました。私はバスケ部だった中学時代、バスケ部の顧問を務めていた教員時代を思い出し、ボールを借りてシュートしてみました。きれいな放物線を描いたボールは、、、なんとリングまで届きませんでした。体力の衰えを痛感しました。それでも、バスケットボールは今も大好きで、テレビ中継があれば観戦しています。

9月、バスケットボール男子日本代表がW杯(ワールドカップ)で過去最多の3勝を挙げ、アジア勢最上位でパリ五輪への出場権を48年ぶりに獲得しました。男子日本代表はNBA選手の八村塁、渡邊雄太を擁して臨んだ2021年東京五輪(開催国枠で出場)で3戦全敗。2019年のW杯でも5戦全敗。その男子チームの再建を託されたのが、トム・ホーバスHC(ヘッドコーチ)でした。世界ランク36位の日本は、今年のW杯でフィンランド(同22位)、ベネズエラ(同17位)、カーボベルデ(同64位)に勝利。まさに歴史的快挙です。

日本ではアメリカと違って、バスケットボールはマイナースポーツでした。過去の男子日本代表の五輪成績は、1976年モントリオール(1勝6敗)、1980年モスクワ(出場辞退)。以後1984年ロサンゼルス、1988年ソウル、1992年バルセロナ、1996年アトランタ、2000年シドニー、2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロ、9大会連続で予選敗退という弱小チーム。世界には全く歯が立ちませんでした。

そのような中、2年前の東京五輪でホーバスHCが率いるバスケットボール女子日本代表(世界ランク10位)は、準々決勝でベルギー(同6位)、準決勝でフランス(同5位)を破り、史上初の銀メダルを獲得します。

1か月後、ホーバスは男子日本代表チームのヘッドコーチに就任しました。周囲は驚きました。ホーバスは女子チームの指導経験しかなかったからです。不安を払拭するためには、結果を出すしかない。ホーバスは全国のBリーグの試合を精力的に視察し、代表選手の選考に着手しました。自分が目指すバスケットボールを実現するため、チーム構想に見合った選手として、比江島慎、富樫勇樹らを招集します。世界で勝つための突破口は、「チームバスケット」。そのためのチーム戦略は、スリーポイント(3P)シュート、スペーシング。

「アメリカと同じバスケットをやったら、日本は絶対に負ける。」欧米選手と比べて体格で劣る日本人の能力を上手に引き出すためには、3Pシュートを軸にしたチーム戦略を男子にも応用すること。ホーバスは「戦略の転換」を図ろうとしたのです。果たして、女子チームで成功した戦略が、男子にも通用するのでしょうか。

案の定、各所属チームから集められた選手にとって、長年染みついたプレースタイルを変えることは容易ではありませんでした。例えば、長身選手は体格を生かしてドリブルでゴール下に切り込むシュート(2点)を得意としています。豪快なダンクはバスケットボールの醍醐味です。それに対して、遠くから打つ3Pシュートは外れる確率も高いため、長身選手が3Pシュートを打つことは、通常はあまり多くありません。

ホーバスHCは、3Pシュートを狙う意識があれば、どんな強い相手にも勝てるという信念の下、チーム戦略を徹底します。「所属チームの戦略は忘れること」「全員が得点を狙うこと」「全員が3Pシュートを打つこと」を選手に指示しました。3Pシュートの成功率を上げるカギは、テンポの速いプレー、パス回し。チャンスがあれば迷わずに3Pシュートを狙うこと。「自信をもって！」「自分たちの力を信じろ！」と言い続けたのです。

2年間のチーム改革の結果、男子日本代表は強豪チームを次々と撃破。世界で戦えることを証明しました。戦略を転換し、自分たちの強みを知り、磨きをかければ必ず突破できる。来年のパリ五輪が楽しみです。

本校の強みとは何でしょうか。それは、種足小を応援してくださる種足の皆様の存在です。「チーム種足」。これまでも学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を果たし、ワンチームで子供たちに「生きる力」を育ててまいりました。地域あつての学校。このことを肝に銘じ、重点戦略である「家庭・地域との連携・協働」を堅持し、地域とともに歩み、誇りとされ信頼される学校を目指します。ホーバスHCの言葉「自信をもって！」「自分たちの力を信じろ！」を勇気と行動に変えて、着実に学校改革を進めてまいります。

【5年 稲刈り】

10月3日(火)、5年生が稲刈りを行いました。学校応援団の石川さんに稲刈り鎌の使い方を教わり、みんなで協力して作業を行いました。実りの秋を実感した活動となりました。



【1・2年 遠足】

10月13日(金)、1・2年生が埼玉県子ども動物自然公園に行きました。動物を見るだけでなく、生き物とふれあう活動も楽しんできました。



【6年 加須市陸上競技会】

10月17日(火)、加須市陸上競技会が加須運動公園にて開催されました。前日の16日には、5年生が中心となって壮行会を行いました。下級生の力強い応援を受け、本番当日は、種足小学校の6年生一人一人が自分の力を発揮してきました。



【1, 2年 防犯ミニ講座】

10月4日(水)には、1・2年生を対象に、加須警察署による「防犯ミニ講座」を開催しました。市内では、子供に対する声かけ事案が発生しています。引き続き、登下校時を含めた見守りの御協力をお願いします。



【3年 風の里自然観察会】

9月26日(火)には、3年生が種足地域の「風の里公園」で水辺の生き物の生態について学習しました。活動を通して、身近にある自然の大切さを学ぶことができました。



【交通ルールを守りましょう】

登下校時に、交通ルールを守れていない状況が見られます。「赤信号で横断しない。」「道路にはみ出して歩かない。」という指導を継続していきます。

11月の主な行事予定

日	曜	行 事 等
1	水	第2回いじめ撲滅月間(～10日)
2	木	「彩の国教育の日」授業公開 たねとフェスティバル
3	金	文化の日
4	土	
5	日	
6	月	委員会 給食費等口座引落とし1回目
7	火	脊柱側彎症検診(5年)
8	水	さつまいも掘り1・2年、ひまわり
9	木	市内一斉防災避難訓練 スクールカウンセラー来校 AM
10	金	読み聞かせ(4年) 歯科健診
11	土	
12	日	
13	月	クラブ 教育相談日
14	火	県民の日
15	水	給食費等口座引落とし2回目
16	木	校内持久走大会
17	金	校内持久走大会予備日 読み聞かせ(3年)
18	土	
19	日	
20	月	クラブ
21	火	第2回学校評議員会 ふれあいデー
22	水	
23	木	勤労感謝の日
24	金	読み聞かせ(2年)
25	土	
26	日	
27	月	職員会議 騎西南幼稚園、騎西保育所との交流
28	火	騎西中学校職場体験①
29	水	騎西中学校職場体験②
30	木	2学期末PTA 5時間授業 一斉下校

12月の主な行事予定

- 4日(月)委員会 教育相談日
- 6日(水)文化芸術巡回公演(劇団野ばら)
- 13日(水)標準学力検査
- 12日(火)～15日(金)B日課5時間授業
- 19日(火)校内書きぞめ競書会
- 21日(木)給食終了、大掃除、一斉下校
- 22日(金)第2学期終業式 一斉下校
- 23日(土)～1月7日(日)冬季休業日

【校内持久走大会について】

11月16日(木)2～3校時 ※予備日17日(金)

【距離】	騎西南幼稚園年少	200m
	年長	600m
	1・2年	800m
	3・4年	1000m
	5・6年	1300m



個々の目標に向けてがんばります!当日は、平成国際大学陸上部の学生アスリートにも一緒に走っていただきます。本番までの体調管理の協力をお願いします。

